

Youthful Days + PLUS

Vol.121
春号

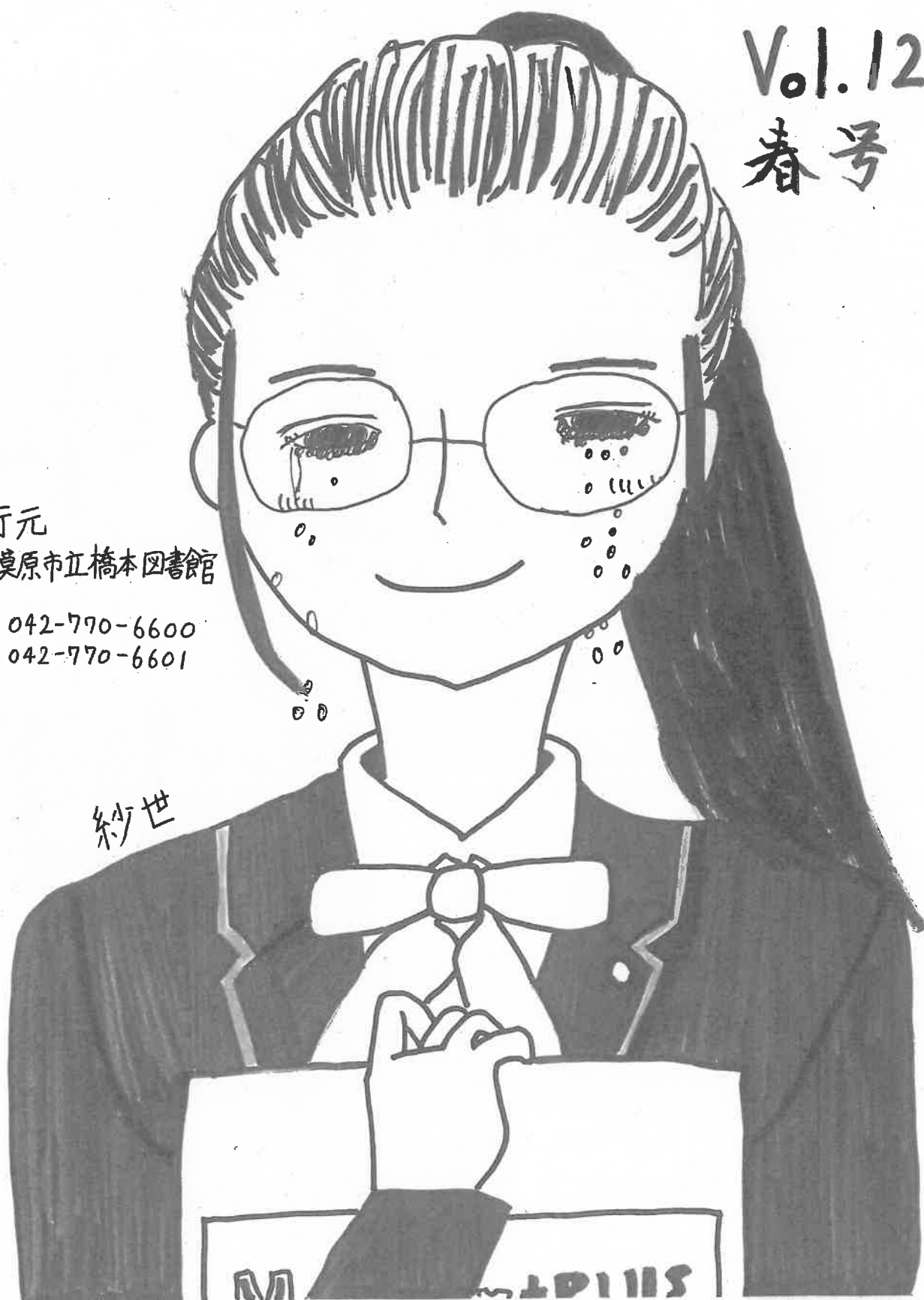
発行元

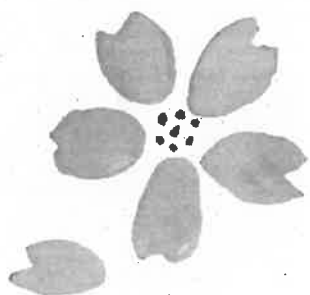
相模原市立橋本図書館

TEL: 042-770-6600

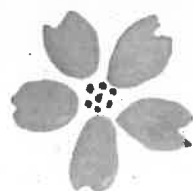
FAX: 042-770-6601

紗世





目次



○和同開珎クイズ (鴉香)・・・P3

ぶんごうきてれつすかん
○文豪奇天烈図鑑 (末雪)・・・P4

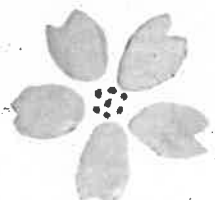
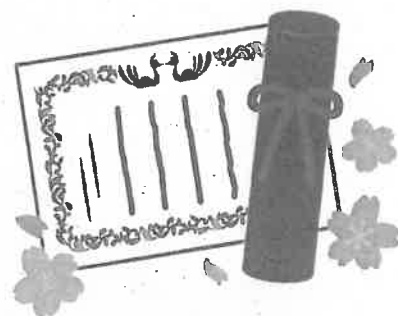
○日本語の話 (さぱんだ)・・・P5

○小説 (紗世)・・・P6・7

○OYA コーナー新着本紹介・・・P8

○OYA 編集委員募集のお知らせ・・・P9

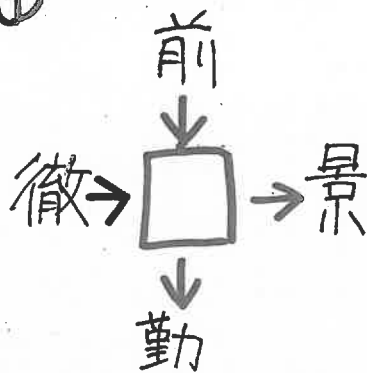
○編集後記・・・P10



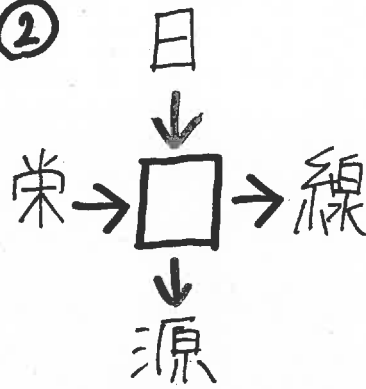
和同開珎クイズ

矢印に沿って読むことで4つの熟語が成り立つように中央の四角に漢字一字を当てはめるクイズです。やってみてください！

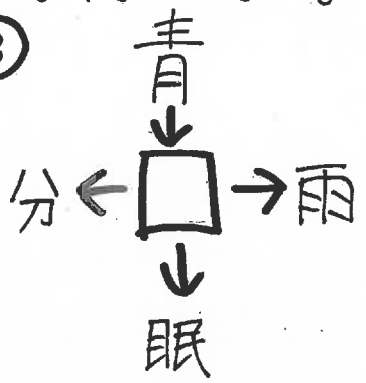
①



②



③



解けましたか？
今回は身近な漢字が入ってるので
解けるとすきりえると思います！
少しでも漢字が面白いと感じてくれると嬉しいです。

①夜②光③暗



文豪奇天烈図鑑

ブンゴウキリッスカン

No.2 川端康成

末雪

康成



1899 ~ 1972

第二回目となりました！ 次の文豪は...

ノーベル賞も取った！ 川端康成！！

有名な作品は、『雪国』、『伊豆の踊子』など。

新感覚派の一人で、文豪の中でも長生きです。

目力が強く、泥棒が逃げるほどでした。

幼い頃は小さい予言などを「神童」と呼ばれていました。

けれど、病弱で食が細かったよう。

同じ新感覚派の横光利一とは菊池寛の紹介で出会いました。

代表作、『伊豆の踊子』では、川端の19歳の時の実体験を元に作られているんです。

芥川賞の選考委員をしていて、太宰との話は有名です。

そんな天才とも言える川端康成ですが...

ここで問題です！

横光利一と出会った時、食べていたものはなんだろう！

①えびフライ

②カレーライス

③牛鍋

④焼肉

正解は、③でした！

次回もお楽しみに！

日本語の話

さばんだ



皆さんこんにちは。さばんだです。みなさん「言葉」の学習していますか？学校では、国語や英語で言葉を学習しますよね。では言葉の歴史を学びましたか？すくなくとも小、中では学びませんよね。(高、大？私は知りません)ということで今回は、日本語をゆる〜くかたていきます。まず日本語の起源は何？ということですが、実は、色々諸説あるらしいです。そう！日本語って謎な事が多いんです。他言語とも違い、カタカナ、ひらがな、漢字などがありますし、S.V.Oの川原も不思議という変な言語。でも、そんな言葉を普通に使う人たちが、実はすごいのかもかもしれませんね。そういえば、この言語が公用語の国はじつは1つしかないらしいです。それはパラオです。実は日本には正式な公用語がなしらしいです。（いまも公用語としての扱いが...）いかがでしたか？かな雑談のようになってしまいましたが、楽しんでいただけたならうれしいです！

星降る線 喫茶店 ~双子の片割れの旅立ちと涙の流星雨ラムネⅢ [終]~ 作・紗世

これまでのあらすじ

海に来た双子の ^{ふたば} 葉帆と ^{みほ} 満帆。コケで足を滑らせてしまった二人は海へ落ちてしまった。目を覚ました二人は、星降る線という電車に乗っており、ひんなことで喫茶店に入る。喫茶店のバリスタをしている ^{ほろ} 星都 北斗によると、この電車は、死者の魂が最初にとどり着く場所である星降る島行きなのだった。そして、葉帆は既に亡くなっていると告げられた。最期に二人は、懐かしのラムネを飲む。——そして、別れの時がやって来た…。

「北斗さん、このまま死ぬ、という選択肢はあるんですか？」

「あ、はい、一応あります。」

「ま、満帆、何を言っているのよ！これ以上、お母さんたちを悲しませるつもり!？」

満帆の発した言葉は北斗も驚いたが、それ以上に葉帆を怒らせた。

「だって私には、葉帆がいなくてダメなんだもん！それに、葉帆を一人で逝かせられないよ……！」

涙を流しながら自分の意見を伝える満帆。しかし、葉帆の思いは違った。

「私は、一人で大丈夫だから…。満帆は、私の分まで生きて、幸せになてよ…。お願いだから、私の行けない、新しい世界に行てよ…。」

葉帆は、自分の全てのかを振り絞って満帆に語りかける。

「満帆。お願い…。」

葉帆は、姉として妹の前では泣くまいと我慢しているが瞳はとんとん潤いていく。すると、汽笛が短く鳴った。

「とうとう時間です。」

汽笛と共に、北斗は別れの時が来たと告げた。

満帆は、北斗から鍵を受け取ると扉の方へ歩き出した。

「満帆。これ、持て行て。」

葉帆が差し出したのは、オレンジ色のビー玉だった。

「…分かった。じゃあ、葉帆は私のを持てて。」

差し出された白玉のビー玉を、葉帆はしっかりと握った。

「じゃあまたね、葉帆。」

「うん、またね、満帆。」

そう言い合うと、満帆は鍵で扉を開ける。

真白な光に包まれた満帆は、たった一人で足を踏み出した。

「また神様にお預けいするんじゃないわよ、満帆。」

そう葉帆が呟いた言葉は、もちろん満帆には聞こえていなかった。

すこし経つと、長く汽笛が鳴った。

「葉帆さん、時間です。」

「…はい。」

北斗に声をかけられて、葉帆はゆくりと電車を降りて逝った…。

…ほ、…ほ、まほ、まほ、満帆!!

私の事を誰かが呼んでる…。起きなきゃ…。

私は仕方なく目を開けると、そこには目が真赤に腫れた母たちがいた。

「あんた、海で溺れて意識不明の重体だったんだよ!」

「…しほ、は?」

と私は力を振り絞って声を出す。しかし、結果は変わらなかった。

「ダメ、だった…」

そう言いながら力なく首を振る母。

そして、私は右手をずっと握りしめていることに気がついた。

開くと、そこには栞帆と交換したオレンジ色のビー玉があった。

「しほ…」

そう呟いた私は、ビー玉を握りながらさき、きの事を思い出し、静かに涙を流したのだった…。

終わり

あとがき。 ※本文の内容に触れる為、先に本文を読んで下さい。

いやー、長かった…。

話しの大まかな流れはすぐに決まったのですが、色々と小悩みながら完成しました。

本当は、黄道十二星座の双子座の神話に絡めた物語にするはずが、あんまり絡められなかったのが悔しいです。

でもなんとかして少しでも絡めようと考えた結果、栞帆が亡くなる、ということになりました。

実は、「満ちる」という漢字の入っている満帆が先に亡くなるという流れで書こうとしていたのですが、双子座の神話では兄・カストルが亡くなるため、無理矢理に変えちゃったのですよ…(エヘヘ)。

「双子座の神話とは…。ギリシャ神話では、神・ゼウスがスパルタ国のシタと愛し合い、生まれた双子の兄弟の星座というてとになっています。同じ母から生まれたのに、兄・カストルは人でいつか死ぬ運命にあつたのに、弟・ホルックスはゼウスのように不死身だったのです。戦いで亡くなったカストルの後を追おうとしたホルックスですが、不死身だったためいくらがんばっても死なない。そこで神に兄と会わせてほしいと願ったホルックスは、星座となり再会できました。」

最終的には、カストルとホルックスの生まれ変わりという設定で双葉姉妹が出来ました。

ちなみに、「スパルタ教育」などの「スパルタ」の語源はギリシャ神話の「スパルタ国」からだそうです。

双子座の神話を元に、このお話しを読み返してみても良いかもしれませんね?

ここまでお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

またね〜!



YA

コーナー 新着本紹介(2025.1月~3月受入分)

YA913/フクキ『ピーチとチョコレート』

福木 はる/著 講談社

中学2年生の萌々は空気を読み、明るいキャラをつくっている。ある日、ヒップホップ・ラップ教室の講師に見学に来よう誘われます。講師の「人生、変わるよ?」という言葉が気に入りヒップホップを調べていると、女性海外アーティストに目がとまります。自分自身の魅力をポジティブに歌い上げる彼女の曲に驚き、どうやったらヒップホップで人生が変わるのかを見つけ出そうと教室に通い始めます。そして文化祭の舞台発表で、伝えたい自分の想いをラップに注ぎ込みます。主人公のように、決めつけた「わたらしさ」を手放して、いろんなわたしに出会ってみませんか。

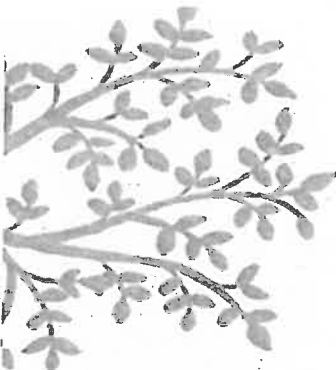
YA780『小・中学生のための女子アスリートの「食事と栄養」』

上木 明子/監修 メイツユニバーサルコンテンツ

小中学生の成長期に大切な栄養素や休息の取り方などを知ることができます。部活動などで、スポーツをやっていると、うまくなりた、活躍したいと思う人が多いでしょう。練習を一生懸命するだけでなく、よく食べ、よく休むことでバランスのとれた体づくりができ、自分の力をより発揮することができます。成長期の体や心の悩みに答えてくれるQ&Aのコーナーもあります。また、スポーツをやっていないくても、毎日元気に過ごす為に必要なことが書かれています。

その他のおすすめ新着図書

分類	書名	著者名	出版社名
YA141	親子で学ぼうしたらお金持ちになれるの?	橘 玲/著	筑摩書房
YA316	あなたが学校でしあわせに生きるために	平尾 潔/著	子どもの未来社
YA369	すぐそこにせまる脅威巨大地震	遠田 晋次/監修	ニュートンプレス
YA599	未来のために知っておきたいみんなの子育てスキル	水野 正司/著	マイクロマガジン社
YA780	中高生のためのやさしいスポーツ医学ハンドブック	曾我部 晋哉/著	日本写真企画
YA789	剣道入門	有田 祐二/著	ベースボール・マガジン社
YA820	四字熟語で始める漢文入門	円満宇 二郎/著	筑摩書房
YA913/イガラ	15歳の昆虫図鑑	五十嵐 美伶/著	講談社
YA913/オオギ	そこに言葉も浮かんでいた	おおぎやなぎ ちか/作 影田 花道/絵	新日本出版社
YA913/キタザ	ユニコーンレターストーリー	北澤 平祐/著	ホーム社



YD編集委員 大募集！



Youthful Days+PLUS とは

「Youthful Days+PLUS」は橋本図書館で発行している、中高生の中高生による中高生のためのライブラリーマガジンです。

中高生の YD 編集委員が中心となって、特集の企画から編集まで行っています。完成した冊子は館内だけでなく、市内の公民館や中学校、高校にも届けられ、多くの方に読まれています。

おすすめの本の紹介や、イラスト、小説や詩を中心に年に4回、発行しています。ぜひご覧ください♪



YD編集委員とは

YD編集委員は、中高生およびその年代の有志のメンバーで構成されています。市内在住・在学に限らず、橋本図書館に通うことが容易であれば、誰でもYD編集委員になることができます。小学生の頃からYDを読んでいて、憧れてYD編集委員に入ってくれる子もいます。

集まるメンバーは学校も学年もバラバラですが、いつも和気あいあいと楽しく編集会議をしています。

<YD編集委員の参加条件>

1. 中学生・高校生またはその年代であること。
2. 編集会議に参加できること。(発行月の3か月前と前月の第1日曜日に、年8回あります。)
3. 相模原市内在住・在学に限らないが、橋本図書館への来館が容易であること。

* 今回の募集人数は5名程とする。

* 新規登録者は4月に登録を行います希望者がいる場合はその都度説明の上登録できます。

<申し込み方法>

橋本図書館こどものほんのコーナーのカウンターまで、直接お越しください。

次回のYD編集会議は

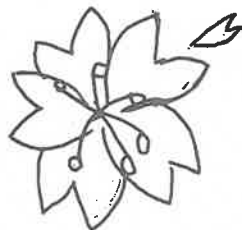
4月13日(日) 午後2時から
グループ読書席で行っています。
見学大歓迎！！

お問い合わせ先：相模原市立橋本図書館
電話：042(770)6600

春号 集 糸編冊

ヘンシ ユウ

コウキ
後記
末雪



とうとう卒業です...! 早い、早すぎる...!
本当に良い経験もさせていただきました!
ありがとうございます!
これからも Youthful Days+を
よろしくお願いします!!
表紙の絵が過去一すごく書けて
嬉しいです! 紗世

春から高校生!!
部活に勉強に、いろいろ
チャレンジしていきたいです!
瑠華

春になりましたね!
いい一年をすごせるように
これから頑張っていきたい!!
雅香

花半分で前が見えない。
そんなことより私ももう中三
ですよはい。
さばんだ

もう受験生...
けどゲームしたい!!
末雪

お知らせ

YD 編集委員募集中!

Youthful Days+PLUS の企画・執筆・編集・製本に参加してみませんか?

次回の会議は 4 月 13 日 (日) 午後 2 時から

場所: 橋本図書館 グループ読書室 (変更になる可能性があります)

奥付

Youthful Days+PLUS (Vol.121)

令和 7 年 4 月 1 日発行

Youthful Days+PLUS 編集委員会 / 編著 相模原市立橋本図書館 / 発行

SDGs
未来都市
さがみはら

